

母の夢を兄妹で
支える。
都内での経験を
会津で活かす。

さぜ けん
佐瀬 健 さん(30代)
みわ
美和 さん(20代)

<会津若松市>
ダイニングバー経営
(起業)
2019年 Uターン

会津若松市で飲食店を新築オープン

『城下町として今も多く観光客が訪れる会津若松市。人口1,000人に対して全国的にも飲食店比率が高いと言われる街でもあります。たくさんの観光客が会津の食を楽しんでいることはもちろんですが、地元の人たちも昼の外食、夜は飲みに行く文化が根付いており、食のレベルが高い飲食店が多く存在しているのです。』

2019年11月にオープンした「オルテンシア」はランチサービスと夜はお酒が飲めるダイニングバーです。このお店でシェフをするのは佐瀬健さん。フロアを担当するのは妹の美和さん。お二人が会津若松市にUターンするきっかけ、仕事のこと、住んでみての魅力をお店にお伺い取材しました。』

取材日 2022年12月16日

Uターンのきっかけ

<移住のきっかけ 健さん>

私は東京都の大学に進学し、そのまま都内の飲食店で勤務しました。学生時代から飲食店でバイトをしていたのですが、都内でも高額なお店でした。接客が面白いと思いき、その道に進みました。その後、調理もするようになり、料理人として都内で働いていました。

実家の会社が建物の老朽化もあり建て替えることになり、祖母から私に戻って2階に飲食店を作れば、という提案がありました。都内の人混みがどうしても好きになれなかったため、その提案は魅力的でした。

その提案の陰には喫茶店をやりたいという母の夢がありました。昔から喫茶店に置くつもりで小物を少しずつ集めていたくらいです(笑) 今回の改築で一番喜んだのは喫茶店をやりたい母です。

<移住のきっかけ 美和さん>

私は東京都の大学に行って、働きたかった制作会社に勤務しました。勤務して2年を過ぎた頃に実家の会社を改築して兄が2階でお店をやる、という話が出ました。

その頃の私は、平日は終電で帰る、休みも仕事が入るかもしれないから友達とも約束できない、という日々が続いて、好きな仕事なのに気持ちがついていけなくなっていました。大学の時にキラキラしていた都内での生活が、仕事になるとただの家と仕事場の往復だけになってしまい、社会人になってからはいいイメージがありま



せん。ただ、せっかく手に入れた憧れの仕事を手放すのか、という葛藤はありました。その時に思い出したのは学生時代に友人と話した「東京ではのびのびした子育てはできないね」ということでした。やはり、私が生まれ育った会津若松市での環境がベースなんだと気づきました。お店のオープンが11月だったので、その前の7月にUターンして来ました。

どの選択をしても後悔はすると思うのですが、やらない後悔はしたくないと思っています。

仕事のこと、住んでのこと

<仕事のこと>

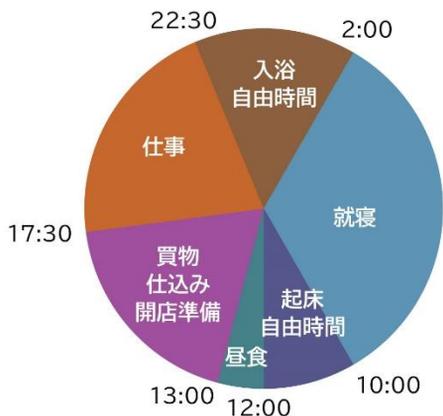
このお店の内装は母が、メニューは私(健さん)が作りました。繁華街が近いのですが、女性が一人でも寄ってもらえるようなお店にしたいと思って、手軽なのにちゃんと美味しい無国籍料理を目指しています。オープンしてすぐは、すごく忙しくて全く休めませんでした。なんなら都内にいた時より忙しいくらいで、家族でグスグスしてしまいました(笑)

コロナ禍になり、一気に人が動かなくなってテイクアウトをしたり予約対応をしたりと工夫して、今やっとお客様が戻って来てくれています。



時間を作って刺繍の作品作り

ある一日のスケジュール(健さん)



今はランチは火・水曜日のみ、夜はダイニングバーとしてワインやカクテルも取り揃えて営業しています。

あと、私(美和さん)ですが、時間の余裕が出来てきてもともと好きだった刺繍を始めました。できれば指導者としての資格も取って、仕事にしていきたいと思っています。

二人とも今は仕事だけをするのではなく、オン・オフの切り替えができる仕事スタイルになっています。

<会津若松市の魅力>

都内にいたから分かるのですが、会津若松市での仕事や生活は「生きづらくない」です。都内にいる時は「仕事をするために生きている」感じでしたが、今は「生きるためだけに仕事をしているわけではない」と思えます。ここでの生活は落ち着きますし、心の潤いがあるような気がします。

お店を始めるからたくさんの方が来てくれましたが、皆さん優しいです。コロナ禍で大変な時もこの優しさに助けられました。「地元の皆さんが記念日に来てくれるような愛されるお店になりたい」と思えるのも地元の人が優しいからだと思えます。

<会津若松市での困りごと>

仕事で困ったことは、都内で仕入れられていた食材が簡単には手に入らないことです。オープンの準備の時に気が付いて焦りました。今はネットで取り寄せたりして味のこだわりは維持しています。

佐瀬健さん・美和さんの行動歴

会津若松市生まれ ⇒ 東京都(大学・就職) ⇒ 会津若松市へ

移住を検討している方にアドバイス

飲食店を始める方であれば、都内との品揃えが違います。事前に調べた方がいいと思います。



お洒落な内装に、一人で居やすいカウンターも

現住人口	114,980人 男性/55,044人 女性/59,936人
面積	382.99平方キロメートル
標高	海拔 218.32m(会津若松市役所)
最寄駅	JR磐越西線「会津若松駅」
最寄IC	磐越自動車道「会津若松IC」
保・幼・こ	認可保育所 11か所 幼稚園 2園 認定こども園 18園
小学校数	公立 19校 私立 1校
中学校数	公立 12校 私立 1校
高校数	公立 6校 私立 3校
病院数	病院 7か所 診療所 95か所 歯科 54か所

市の特徴

鶴ヶ城を中心とした歴史と伝統が息づく城下町。会津地方の中心地として都市機能を備え、行政や企業の出先機関や支店等も集中している。一方で、すぐそこには素朴な里山、田園風景が広がっている。現在は行政サービスや事業にICT(情報通信技術)を導入したまちづくり“スマートシティ会津若松”に取り組んでいる。

移住 サポート 窓口

会津若松市定住・二地域居住推進協議会 会津若松市役所(地域づくり課)
移住ウェブサイトaizuwakamatsu-iju.jp
電話:0242-39-1202
メール:shinko@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp

